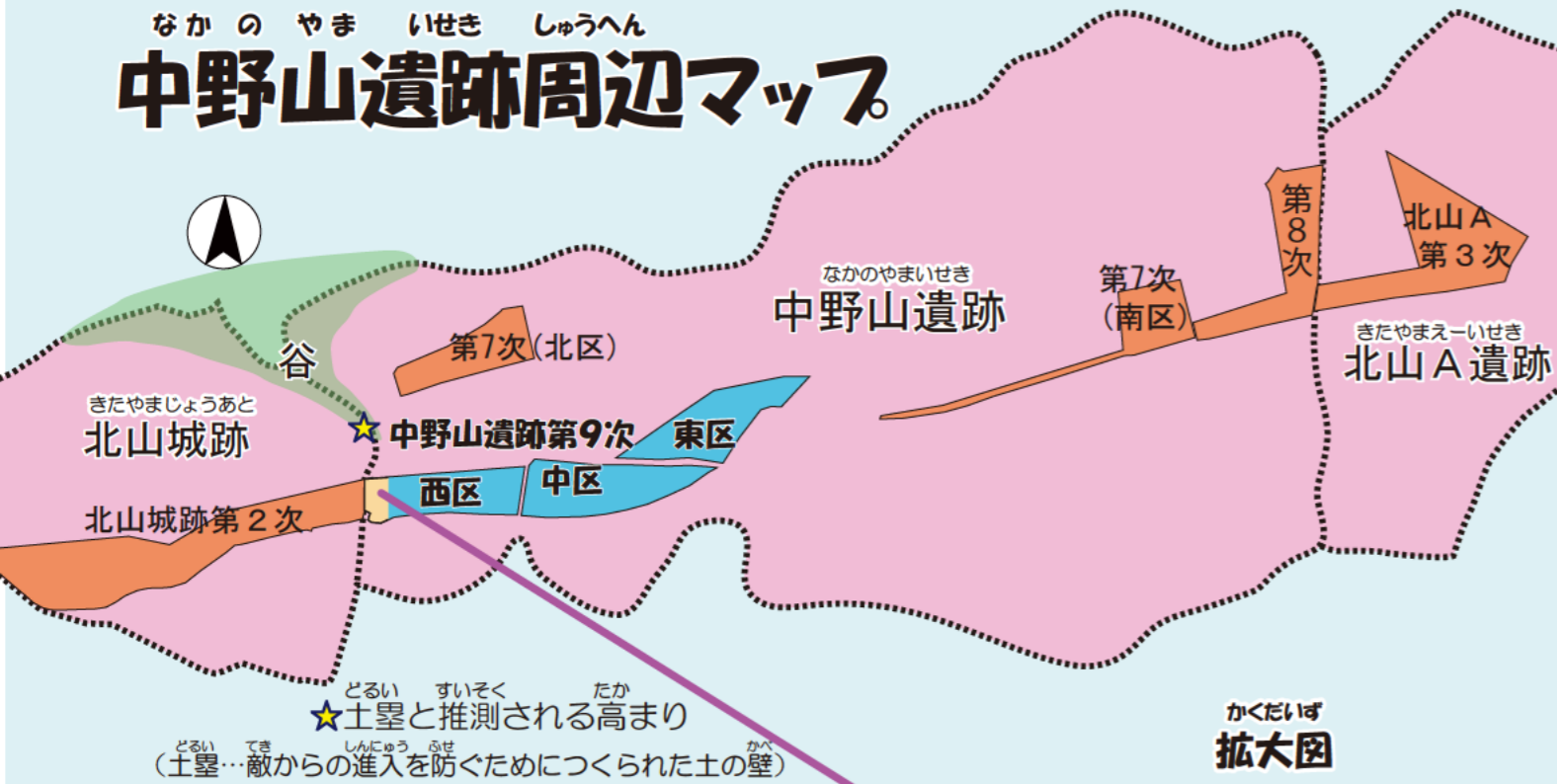


なかの やま いせき しゅうへん  
**中野山遺跡周辺マップ**



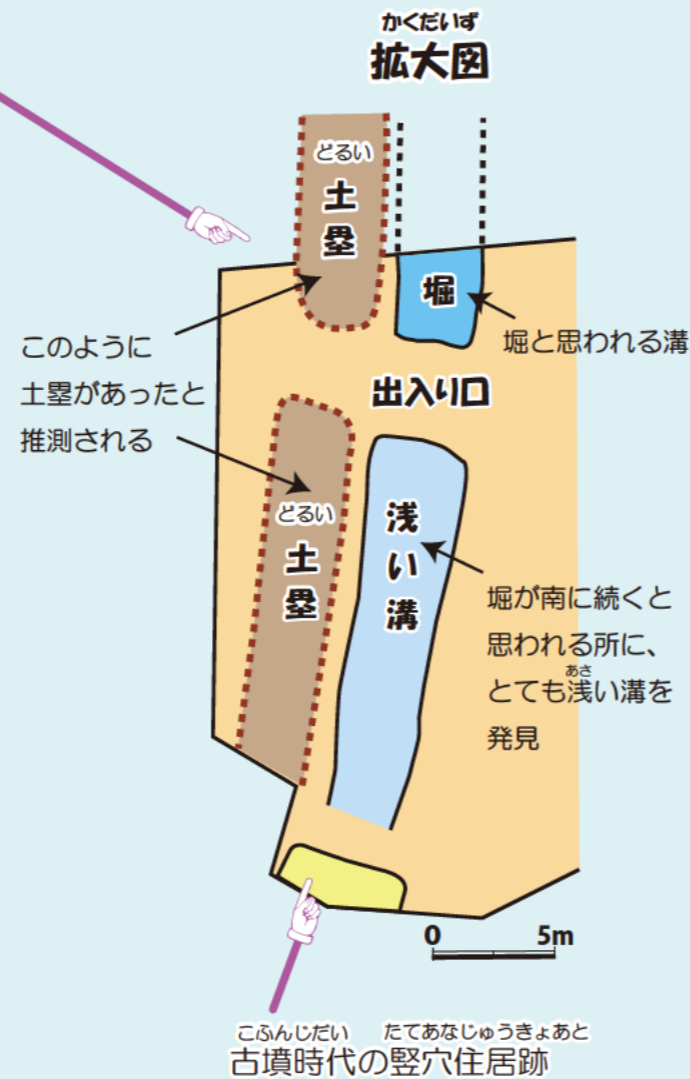
きたやまじょう ほり  
**北山城の堀と思われる溝を発見!**

北山城跡と中野山遺跡のちょうど間に谷の地形を利用してつくられた土塁と推測される高まりが見られます。その土塁が南に続いているかもしれないと推測し、調査しました。

その結果、堀と思われる溝を発見しました。おそらく土塁は南に続いていたことと推測されます。

興味深いことに溝は途中で途切れていました。おそらくその部分は出入口だったのかも知れません。

今回の調査成果は北山城のことを知る上で、貴重な手がかりになると思われます。



新名神高速道路建設事業に伴う

なかの やま いせき  
**中野山遺跡**

第9次発掘調査 現地説明会資料



あすかじだい  
 飛鳥時代(約1400年前)の  
 ほったてばしらたてものあと  
 掘立柱建物跡(中区★地点)

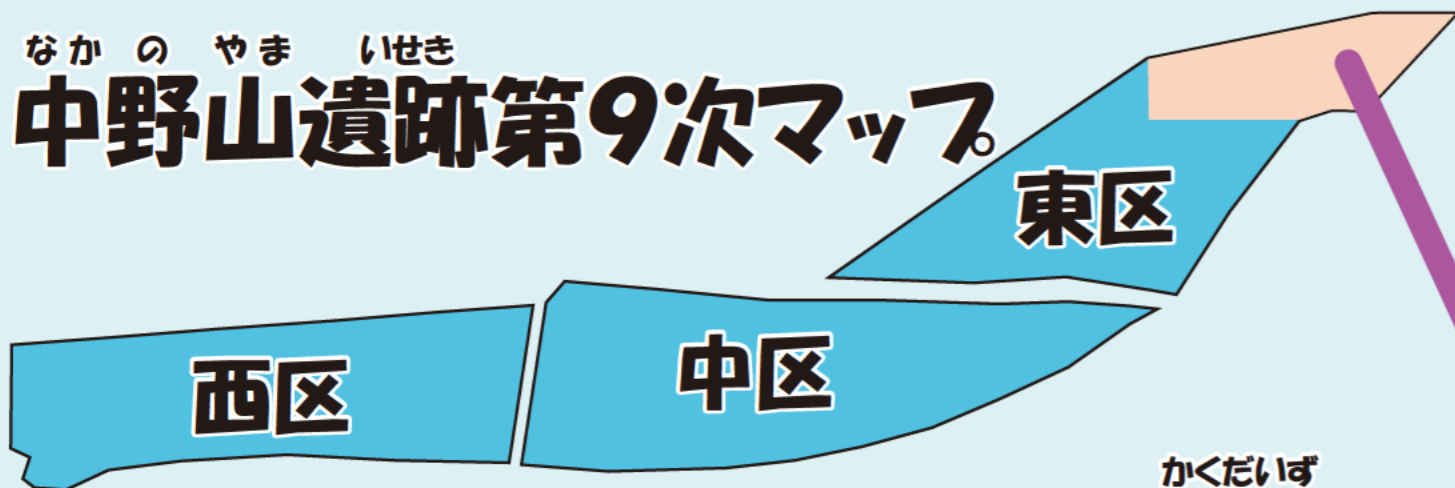


2012年10月13日  
 三重県埋蔵文化財センター

中野山遺跡第9次発掘調査 現地説明会資料 (新名神高速道路発掘調査ニュース「新あさけのいにしへ No.10」)

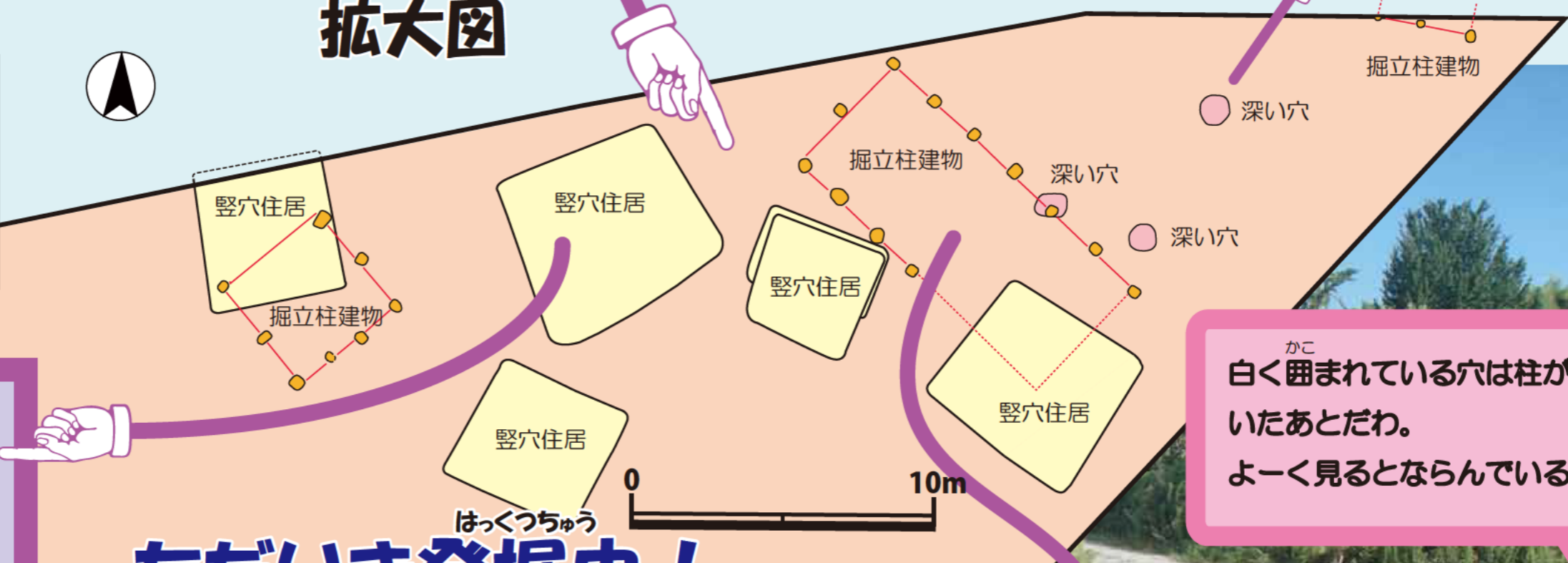
三重県埋蔵文化財センター 〒515-0325 三重県多気郡明和町竹川503  
 TEL:0596-52-1732 / FAX:0596-52-7035 <http://www.bunka.pref.mie.lg.jp/maibun/>  
 四日市整理所 〒512-8064 三重県四日市市伊坂町126-1  
 TEL:059-363-3195 / FAX:059-363-3196  
 2012年10月13日

なかのやま いせき  
**中野山遺跡第9次マップ**



かくだいず  
**拡大図**

主な遺構の時代と種類		
縄文時代	深い穴	
飛鳥時代 (約 1400 年前)	掘立柱建物	
	縦穴住居	



この大きな深い穴で、縄文時代の人は食べ物を蒸し焼きにできていたのでしょうか。焼けた石が見つかりました。

白く囲まれている穴は柱が立っていたあとの跡だわ。よく見るとならんでいるね！

たてあなじゅうきょあと  
**縦穴住居跡で見つかった土器**

特徴のある土器を手がかりに時代が推測できるのじゃよ。この土器はおそらく、飛鳥時代(約 1400 年前)の食器じゃな。われていても貴重な土器なのじゃよ。

**ただいま発掘中!**

アーリーちゃん モグ博士

モグ博士、このように柱を並べて建物を建てていたんだね。

そうじゃな、アーリーちゃん。中区の掘立柱建物(表紙写真)もそうじゃが、中野山遺跡のなかでも大きいサイズの建物あとが見つかったんじゃ。

掘立柱建物のしくみ

